

ニホンジカによる森林植生被害の分布 (農林センター 森林技術センター)

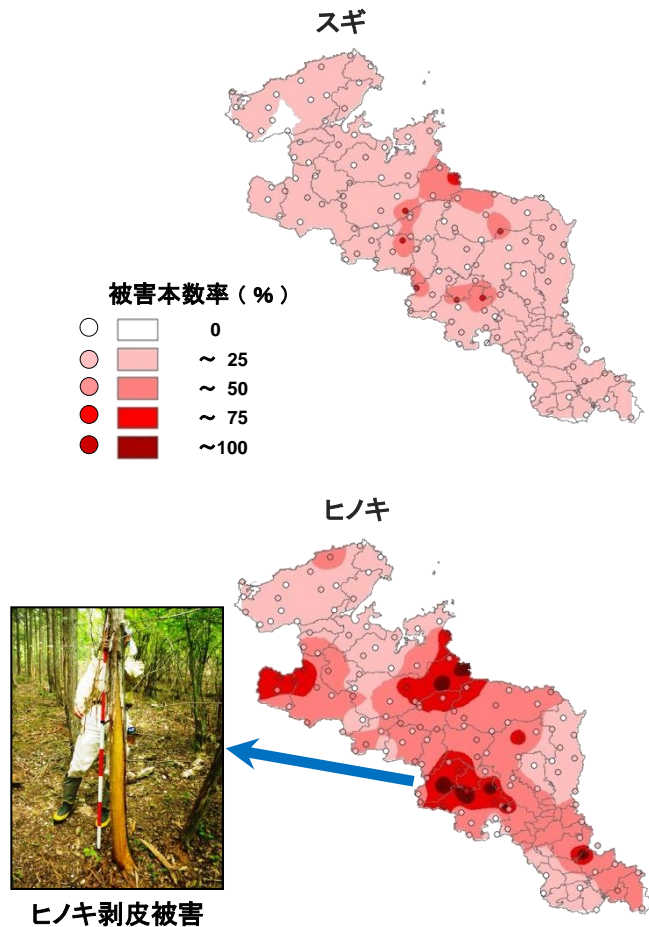
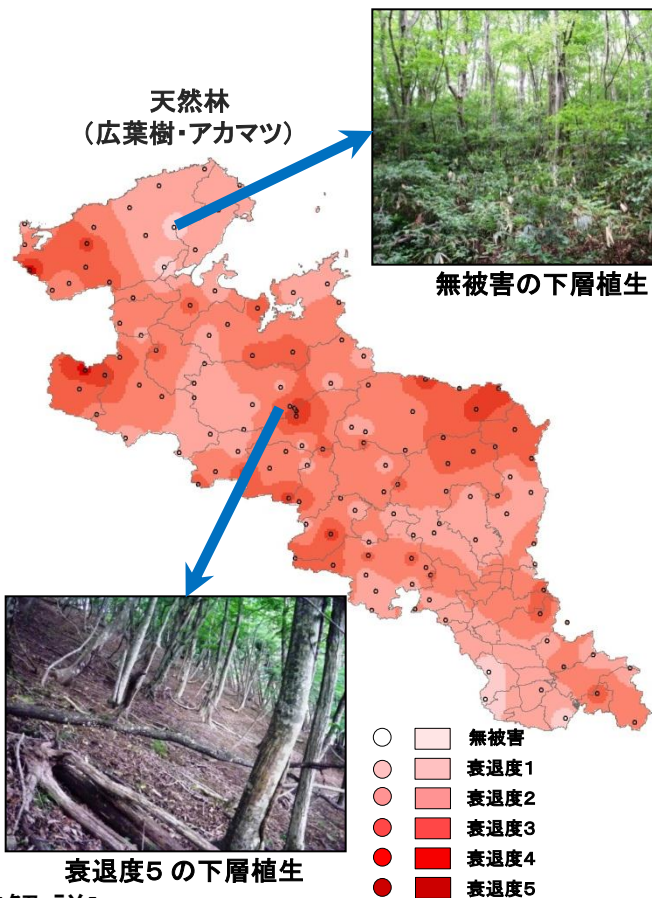
京都府全域で、ニホンジカによる天然林の下層植生の衰退度及び人工林（成木）の被害分布を調査し、解析しました。

◆天然林下層植生衰退度の分布

◆スギ・ヒノキ人工林(成木)被害の分布

(※成木の被害:角研ぎ、剥皮)

(色が濃くなるほど衰退及び被害レベルが高くなります :調査箇所各々132箇所)



[解説]

- ・ 衰退が進んだ地域は、旧久美浜町、旧夜久野町、旧瑞穂町・旧丹波町・旧園部町兵庫県境地域、綾部市・旧和知町境、旧美山町。無被害地域は数箇所。
- ・ 下層植生衰退度とスギ及びヒノキ人工林（成木）被害の発生地域は中丹及び南丹地域で、概ね一致。ニホンジカが最近増加している丹後地域では不一致。

- ・ 下層植生衰退の進んだ地域及びその周辺地域では、重点的な捕獲や防護柵設置等により、防除対策を一層進める必要があります。
- ・ ヒノキ人工林において被害が拡がっており、防護ネット等の対策が必要です。
- ・ 今後の生態動向把握のため、定期的なモニタリングが必要です。